

社会福祉法人 八つ鹿会（八つ鹿工房）

障がいのある人と地域をつなぐ

「社会福祉法人 八つ鹿会」では、障がいのある人などの就労や生産活動の機会を提供するため、さまざまな事業を行っています。

その中の1つの陶芸事業は、法人立ち上げ当時から続いています。そこで製作された立牛鬼などの陶器は市推奨品にも認定され、広く親しまれています。また、陶芸で使う設備を活用して地域の人にも参加できる陶芸教室を開催。教室で使う粘土や教室の準備などを就労支援事業として行い、授業料を工賃に反映させています。一般開放することで障がいのある人と地域の人とが関わる機会を

設け、障がい福祉への理解を深めることも目的の1つです。昨年、商店街にオープンした「アトリエ やつしかふえ」も同じ目的で開設されました。

ほかにも、ヒオウギ貝を使ってインテリア作りを楽しむシーボーンアート教室を開催。汚れた貝の掃除を就労支援事業として行うだけでなく、廃棄される貝を使うことで環境保全も目的としています。

理事長の毛利さんは「障がいのある人の就労支援だけでなく、地域貢献や環境保全などにもつながる事業を展開したい」と話してくれました。



▲シーボーンアート教室で講師を務める皆さん



▲陶芸教室



▲市推奨品：立牛鬼・闘牛